

世代ふれあいの会夏まつりへの防災部としての対応について

(検討材料としてのアイデアです。)

前提

イベント案

⇒ 防災部に関連する活動に限定して考える。

企画運営担当者

⇒ 本部防災委員担当リーダーのみを担当者とするのでは実施困難。

別途企画運営担当者数名必要、「わたしもやる」と手を挙げてほしい。

町内会役員がサポートしてもらえないか。

案1. 広報活動のみ

(1)「防災」における「自助」について

具体的には、町内会防災通信(1～6号)記載内容に即したパネルを作成・掲示

防災用品準備、屋内家具倒壊防止策、家族間連絡方法取りきめ、災害伝言ダイヤル171など

「警戒情報・避難指示」、「避難場所・広域避難場所」の意味の解説など

(2)安否確認担当、本部防災委員の募集パネル作成、チラシ配付、申込受付コーナー設置

(3)防災グッズの展示コーナー設置(後記)

案2 防災用品の購入斡旋

(1)対象商品案

購入先が限られる消火器、災害時になくて最も困るトイレ対策用品などに絞る

(2)留意事項 誰が手続きを担当するか、担当者負担が大きい。

・発注者が代金一括支払い、代金回収手続きは(発注時払い、商品引き換え払い?)

・納品は町内会館(事務員不在日・時間帯あり)、取りに来てもらうか、届けるか。

かつて、消火器販売業者に来てもらったことはある(発注者自宅納品かつ不要消火器回収可能か?)

非常用トイレは、町内会としてまとまった個数を購入し希望する町内会員に購入価格で販売する方式なら事務負担はさほど大きくない。(余れば町内会館の防災用品として保存する。)

参考資料

<防災用品の展示(考えられるものの案)>

○防災グッズの展示、あわせてその入手方法、必要個数なども表示する

○現物は有志防災委員より借用し、ないものは写真展示でもよい。

○展示する防災用品として考えられるもの

災害発生直後の緊急対策

身に着けるホイッスル、寝室に置く運動靴・スリッパ、布粘着テープ・軍手、救急セット

火災対策

消火器、家庭用火災報知器(10年で電池切れ、取り換えが必要)、取り換え作業の手伝いは?

断水対策

飲料水対策(ペットボトル、ウォータータンク、給水車からの水タンクキャリーカート)

トイレ対策(簡易トイレ、用済みペットボトルを多数集めて水道水保存)

からだ拭きウエットティッシュ

停電対策

懐中電灯(各部屋に設置)、

情報機器(携帯ラジオ、モバイルバッテリー)、自家用車電源プラグ

防寒具・アルミブランケット

食料対策(基本は「ローリングストック」方式)

保存食

カセットコンロ+カセットボンベ

買い物困難対策(災害数日後に商店在庫払底、入手困難となるおそれがあるもの)

電池、マスク、軍手、トイレトペーパー、ティッシュペーパー、医薬・衛生用品等